



木浦 風の子 元気な子

最後のサケの放流会 3月8日(水) 元気でね~

風の子通信
No.77
3月8日(水)



3月8日(水)、3・4限に「サケの放流会」がありました。昭和61年から取組36年目。木浦小学校最後の放流会です。3・4年生が進行し、これまでの飼育についての発表はすばらしかったです。サケの命が受け継がれてきたように、かかわった木浦っ子・地域の皆さんの思いもつながってきました。能生内水面漁業組合、理科センター等の皆様が来られました。



理科室で飼育したサケの稚魚 キラキラ光る稚魚



体育館で全体会をしました。3・4年生の発表。



★澄み切った青空 よどみない木浦川 みんなの笑顔



吉岡幸男さんの思い出
最初の頃は水を送るためのパイプが雪でつまり、出水も排水もうまくいかず、稚魚が育たず失敗の繰り返しでした。飼育した稚魚を放流できるようになったのは10年たってからのことでした。
当時は、木浦川でサケのつかみ取りをしたり、祖父母と一緒に鮭鍋集会をしたりしていました。現在では、毎年サケがもどってくるようになり嬉しいです。



★3月8日(水)、夕方6時10分からの番組 (NHK) で放映されます。

3・4年生はインタビューされました。放映が楽しみです。